


大分大学教育学部附属小学校の働き方改革～令和4年度達成項目に係る1人あたりの年間削減時間～

NO. 1

令和5年度 第1回学校評議員会資料(令和5年5月19日)

取組内容		通知表の所見を年一回にする								
		1人分の削減時間(分)		回数		それに関わる人数		教職員数(26人)		年間削減時間
児童一人当たりの所見記入、構成を45分と仮定35人		1575	×	1	×	18	÷	26	=	18.2
所見確認 1クラス当たりを150分と仮定18学級		2700	×	1	×	3	÷	26	=	5.2
削減時間 職員1人あたりの目安		年間 23.7 時間								
導入効果		1年間を通しての児童の成長・変容を保護者に伝えられるようになった。								
課題・対応		児童の頑張りを保護者に伝える機会が減る。  夏に行う保護者面談の際に、前期分の頑張りを伝えた。 冬休み前にCRTを行い、12月のPTA集会で傾向の説明を行った。								


NO. 2

取組内容		学年通信を月2回⇒月1回へ 配付文書の電子化・印刷物の削減								
		1人分の削減時間(分)		回数		それに関わる人数		教職員数(26人)		年間削減時間
学年通信の回数 月2回から1回へ		50	×	10	×	6	÷	26	=	1.9
全校への配付 文書の印刷無し		25	×	10	×	4	÷	26	=	0.6
削減時間 職員1人あたりの目安		年間 2.5 時間								
導入効果		カラーでの配布ができるようになった 用紙代の削減ができるようになった 児童による紛失がなくなった								
課題・対応		特記することなし								


NO.3

取組内容		教育課程の電子化								
		1人分の削減時間(分)		回数		それに関わる人数		教職員数(26人)		年間削減時間
検索		8	×	50	×	22	÷	26	=	5.6
印刷・ ページうち		120	×	1	×	2	÷	26	=	0.2
差替え作業		15	×	1	×	18	÷	26	=	0.2
削減時間 職員1人あたりの目安		年間 6 時間								
導入効果		単元の検索が簡単になった。 差し替え作業がなくなった。 見やすい。置き場所をとらない。								
課題・対応		特記することなし								

NO.4

取組内容		児童アンケート・振り返りをWEB集計する。							
	1人分の削減時間(分)		回数		それに関わる人数		教職員数(26人)		年間削減時間
児童アンケート集計	20	×	3	×	18	÷	26	=	0.7
行事振り返り集計	20	×	3	×	18	÷	26	=	0.7
削減時間 職員1人あたりの目安	年間 1.4 時間								
導入効果	結果が数値だけでなく、グラフなどにもできるようになった。 意見の集約が見やすく、まとめやすくなった。 記入する際も、文章の訂正などが楽にできるようになった。								
課題・対応	全体をすぐに見れるため、個人の回答を意識しなくなってしまう。  個人の回答も見ることができるので、全体と個の両方をしっかりと意識して分析等を行う。								

NO.5

取組内容		授業観察シートの様式の簡略化							
	1人分の削減時間(分)		回数		それに関わる人数		教職員数(26人)		年間削減時間
複数の視点をまとめて表記	30	×	54	×	1	÷	26	=	1.0
削減時間 職員1人あたりの目安	年間 1 時間								
導入効果	授業観察の重点を視覚化できるようになった。 観察項目が絞られているため記述しやすくなった。								
課題・対応	総合的な記述になりがちである。  記述する際に具体を示す。								

令和4年度 年間削減時間（一人あたりの目安）	34.6	時間
---------------------------	-------------	----